

## 第2回 BAMIS 国際フォーラム報告書

金 ウンビ (筑波大学大学院人間総合科学研究科体育学専攻)

今回の「第2回BAMIS国際フォーラム」は、著者の出身大学である慶熙<sup>キョンヒ</sup>大学にて開催された。出身大学への1年ぶりの訪問、修士論文をまとめて発表することが決まり、とても期待できた。昨年、第1回BAMIS国際フォーラムが筑波大学で開催された時には、来年度は機会があれば是非発表したいと希望していたし、さらに、出身大学での発表は著者にとってはとても意味のある機会となった(写真1、2)。



写真1. 発表する著者



写真2. 閉会の会い挨拶を通訳している著者

今回の発表者は18人もいて、体育・スポーツ分野の中でもその領域は様々であった。著者は心理学領域の者であるため、生理学のような理系の領域は興味があっても詳しくないので難しいだろうと思っていたが、このような「場」がないと貴重な発表を聴ける機会もなかったかもしれない。さらに、BAMIS 国際フォーラムで著者が得たものは、「心身統合」という観点から、人間の身体について総合的に考えていくことが重要だということであり、多様な視点から頂いた助言を著者の今後の研究に活かしたいと思った。

また、日本の先生方(著者含み)からは3.11の東日本大震災のお話が多かった。先生方の発表からでも感じたように、被災者向けの有効な身体活動のプログラムを開発し、実践することが現在の日本に求められる活動であると考えている。